

令和5年度 学校安全総合支援事業

交通安全に関する事業報告

常滑市



常滑市 交通安全に関する事業報告

1 通学路安全推進会議

常滑市教育委員会

2 交通安全に対する意識向上の取組

常滑市立鬼崎南小学校



常滑市の概要



人口約59,000人

6 km

1.5 km

常滑市のまち事情

日本六古窯のひとつ「常滑焼」
観光地化した古い町並み



中部国際空港を取り巻く
まちの変容
大型商業施設の進出



常滑市の通学路事情

歩行者に十分な幅がとれていない昔ながらの狭い道路



常滑市の通学路事情

交通量の多い幹線道路沿いの通学路



常滑市 交通安全に関する事業報告

令和5年7月

常滑市 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

常滑市通学路安全推進会議

1 プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても協議しました。

その後も、本市では、平成25年から引き続き関係機関の連携体制を構築し、通学路の安全点検や安全確保の取り組みを行うため、「常滑市通学路交通安全プログラム」を策定し、「常滑市通学路安全推進会議」を設置し、中学校区ごとのグループに分け、4年に1度それぞれの地区の合同点検を実施し、対策を協議しています。

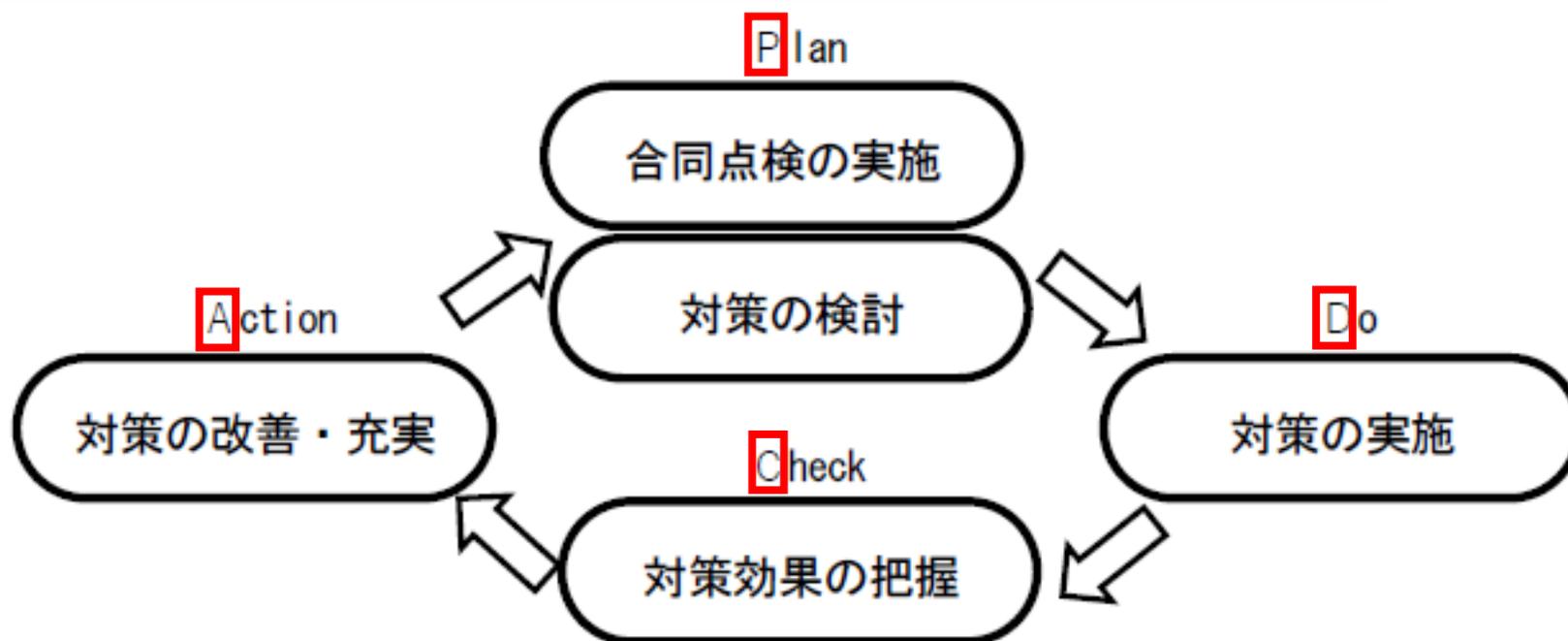
以上の経緯により、本市では、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保を図っていきます。



常滑市通学路安全プログラム

平成25年に策定

通学路安全確保のためのPDCAサイクル



通学路安全推進会議

中学校区ごとに通学路の安全対策を協議

R2
南陵

R3
常滑

R4
青海

R5
鬼崎



〈委員〉

- ・ 大学教授（アドバイザー）
- ・ 県建設事務所道路整備担当
- ・ 市土木課・市民協働課
- ・ 常滑警察署交通課
- ・ 関係地区区長
- ・ P T A ・ 子どもを守る会
- ・ 小中学校の安全教育担当者

〈事務局〉

- ・ 常滑市教育委員会



①学校からの報告

登下校指導で気になる

児童生徒のヒヤリハット

通学路の危険箇所をピックアップする。

合同点検（本年度は情報収集）



②事前調査

アドバイザー・警察署・県建設事務所・
市担当課・事務局で現地に赴き、
現状の把握と安全対策の方向性について
確認・検討する。



③通学路安全推進会議（第1回）

事前調査の報告をもとに、安全対策について検討する。



【学校から】

- ・道路が狭いため、自転車で登下校している子どもの横を車が通り過ぎるときに、子どもと車の距離が近い。車のスピードもある程度出ているので、子どもたちに安全指導を重ねているが、心配が尽きない。

※子どもと車のすれ違うときの距離をあける視点で

【県建設事務所より】

- ・防草対策としてコンクリート、防草シートをはる方法

【区長より】

- ・土木課が防草シートをはった事例があるので検討を

草が生えている場所が水路 ⇒ 下水道課の管轄

様々な連携の必要性

③通学路安全推進会議（第1回）

事前調査の報告をもとに、安全対策について検討する。

【アドバイザーから】

車のスピードダウンを促す働きかけとして

- ・「自転車や歩行者が通る」という視認性を上げるとよい。

→【道路管理者】

視認性の向上を進める方向で安全対策を検討していく。

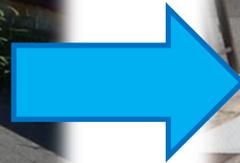


【対策①】ピクトグラムの設置

④道路管理者の対応

会議を受け、道路管理者が安全対策を講じる。

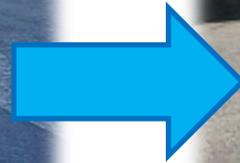
【対策②】 外側線を塗り直し、視認性の向上を図った。



④道路管理者の対応

会議を受け、道路管理者が安全対策を講じる。

【対策③】 中学校校門前の交差点の十字の塗り直しと赤色の枠囲み設置
横断者、歩行者の存在への視認性の向上を図った。



⑤通学路安全推進会議（第2回）

講じた対策の効果の把握や対策の改善を図る。

【学校から】

- ・ピクトグラムを設置してもらったが車からだとはわかりづらい。
青色のカラーラインもあるとよいのではないか。

対策の改善・充実へ



【アドバイザーから】

視認性をより上げるために

- ・ピクトグラムを縦長のものにする
- ・青い矢羽根を追加する



⑤通学路安全推進会議（第2回）

過去に講じた場所についてあらためて話題に。

平成27年度

令和元年度

令和5年度

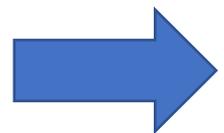


視線誘導標
(反射鏡) 修繕



「とびだし坊や」
設置案も(R5)

【常滑警察から】



令和6年度の危険交差点対策箇所として対策に取り組んでいく
地域の方々へ対策協働会議（仮称）開催の予告

通学路安全推進会議の成果

- 学校と保護者・警察・道路管理者・地域・地域代表等、関係者が一堂に会して話し合うことで、**合意形成を図**ることができ、アドバイザーからの助言を加え、具体的な対策を講じることができた。
- 過去の対策箇所について**振り返る**場面をもったことで対策の効果の検証ができた。また、3回に渡って対策箇所としてあがっていた交差点について、警察が危険交差点対策箇所として対応をしていく運びとなった。

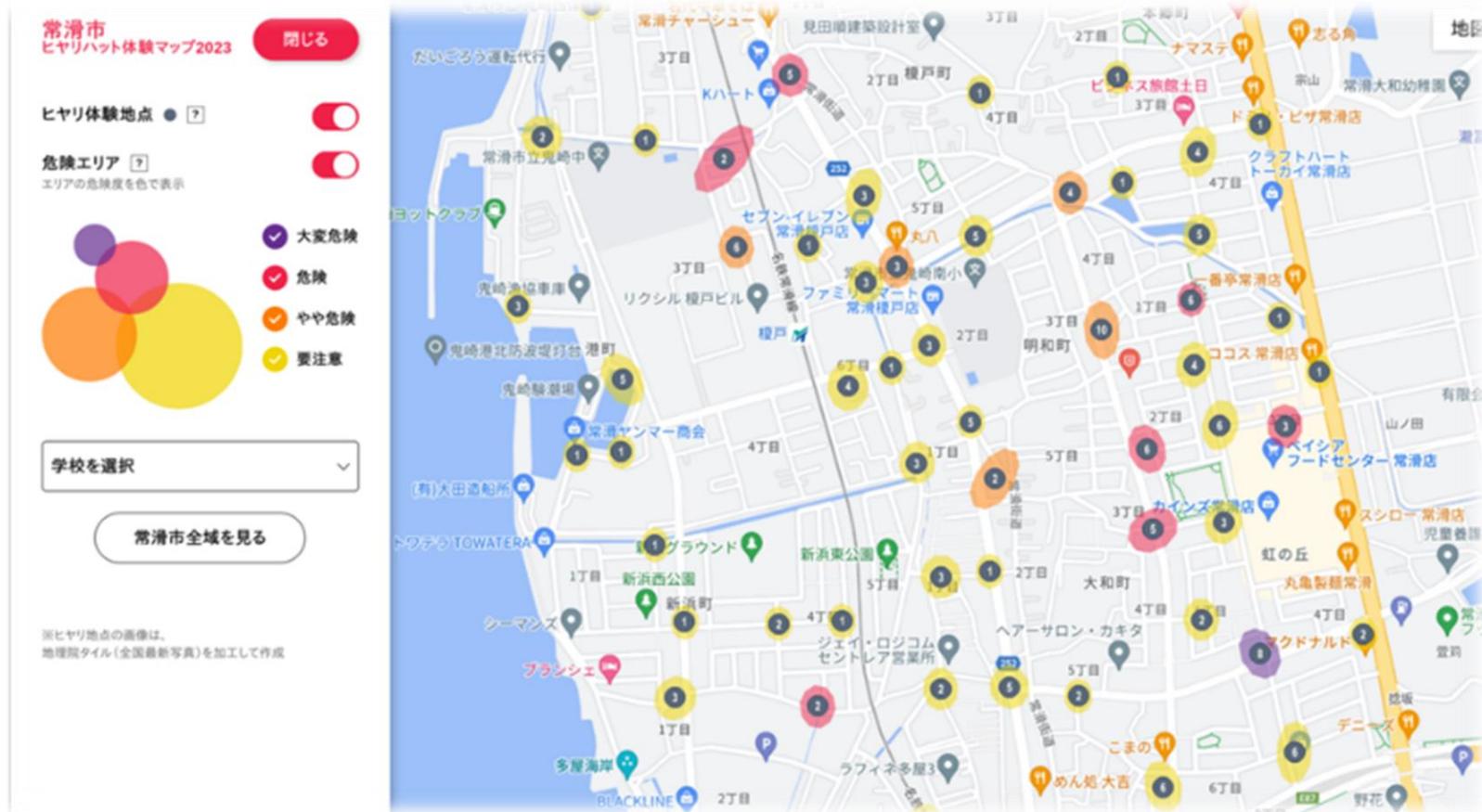
通学路安全推進会議の課題

△コロナの影響で、学校・P T A・地域の通学路合同点検が難しかった。子どもを取り巻く大人が顔をあわせて合同点検に取り組むことにより、子どもの登下校をはじめとした交通安全環境校の向上を一層進めたい。

★通学路交通安全プログラムに基づく通学路推進会議を中心とした子どもたちの登下校の安全を確保する取組を**当たり前のこと**として継続していくこと

常滑市 交通安全に関する事業報告

ヒヤリハット体験マップ



調査対象 中学校

回答者属性 保護者

道路形状 踏切・道路以外(広場、駐車場、私道など)

時間帯 夕方(16時~17時台)

状況 歩いていた時、後ろから走ってきた自動車とぶつかりそうになった

交通安全授業や通学路点検等に活用予定



常滑市 交通安全に関する事業報告

1 通学路安全推進会議

常滑市教育委員会

2 交通安全に対する意識向上の取組

常滑市立鬼崎南小学校



常滑市交通安全に関する 事業報告



常滑市立鬼崎南小学校



鬼崎南小学校の交通安全教育の取組について

- ① はじめに
(鬼崎南小学校区の紹介)
- ② 定期的な取組について
- ③ 研究実践
(5年生での授業実践)
- ④ 成果と今後の課題

①

はじめに

常滑市立鬼崎南小学



大
行



② 定期的な取組について

(1) 登下校指導

(2) 通学団会

(3) 班長会

(4) 交通訓練

② 定期的な取組について

【(1)登下校指導】



すくーるがーどG



多屋を良くする会



榎戸長生会



子どもを守る会多屋



子どもを守る会榎戸



② 定期的な取組について 【(2)通学団会】



② 定期的な取組について

【(3)班長会】



② 定期的な取組について

【(4)交通訓練（1年生）】



② 定期的な取組について

【(4)交通訓練（3・5年生）】

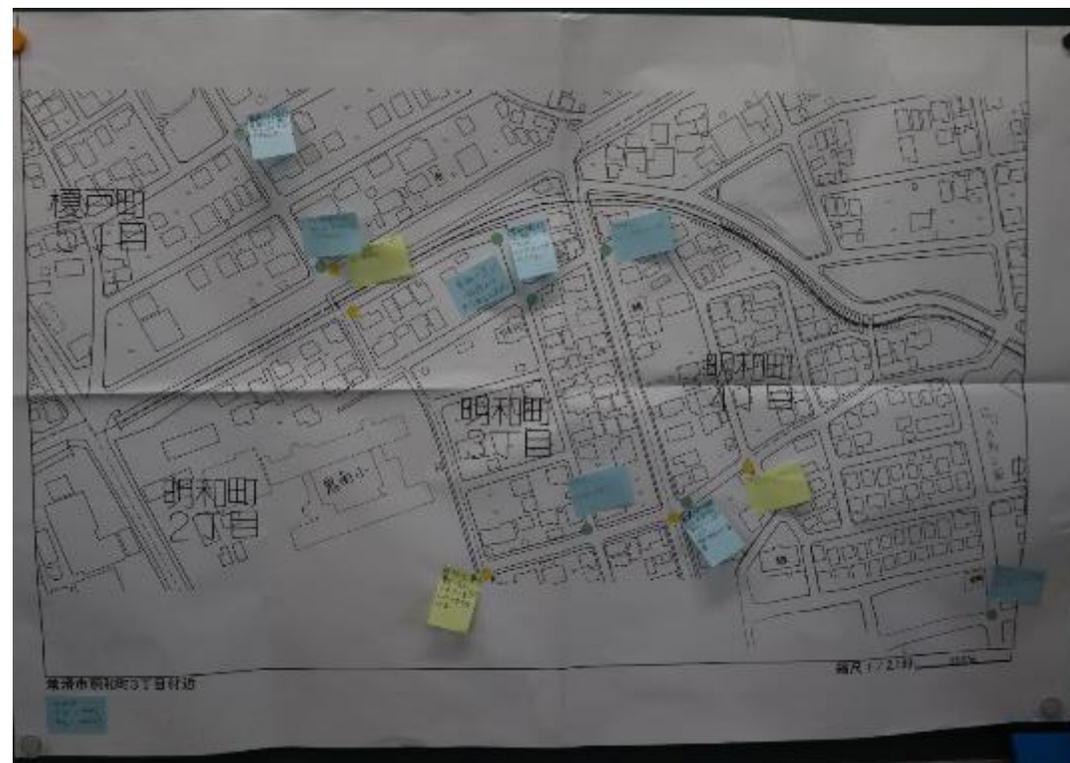


② 定期的な取組について 【(4)交通訓練（2・4・6年生）】



③ 研究実践

【5年生での授業実践】



③ 研究実践

【アンケートより】

横断調査では、いつか「た、た、たしたし、かり、声がかかっているのを確かめてから遊んでいますか

81%の児童が

「はい」

「どちらかというとはいい」

と回答

③ 研究実践

【アンケートより】

道交を渡る時、手を挙げていますか

86%の児童が

「はい」

「どちらかというとはいい」

と回答

③ 研究実践

【アンケートより】



横断歩道では、いつも
『右・左・右』をしっかりと見て、車が来ないことを確かめてから渡っている

道路を渡るときは、手を挙げて
いる

74%の児童が
「はい」
「どちらかというとはい」
と回答

③ 研究実践

【アンケートより】



本当に守ってる？

③ 研究実践

【アンケートより】

- ・ 歩行者優先なのに、車が止まってくれない
- ・ 横断歩道を通る時、車が止まってくれない
- ・ 黄色から赤になった時にも急いで走っていき車がいる
- ・ 信号無視をする車が多い

③ 研究実践

【目指す児童像】

「交通に潜む危険を予測し、
安全な行動をしようとする子」

③ 研究実践

【仮説】

安全な行動

発信：他学年、家庭、地域

可視化：交通安全マップ

目線⑤

低学年児童の場合

目線④

自動車の運転手の場合

目線③

加害者になりうる

目線①

歩行者の場合

目線②

自転車の運転手の場合

交通安全の
知識

土台 実体験

③ 研究実践

【授業計画】

<第3時>

【ねらい】 鬼南小安全マップを作り、通行時の安全な行動について考える

<第2時>

【ねらい】 危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える

<第1時>

【ねらい】 登下校の歩行時に気を付けることや危険を回避するための行動について考える

③ 研究実践
5年生での授業実践

< 第1時 >

【ねらい】

登下校の歩行時に気を付けることや危険を回避するための行動について考える

③ 研究実践

5年生での授業実践



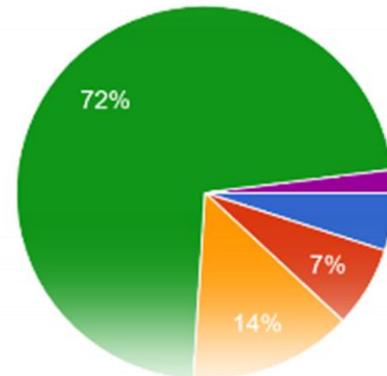
目線①歩行者の場合

<第1時>

【ねらい】登下校の歩行時に気を付けることや危険を回避するための行動について考える



本当に守ってる？



- はい
- どちらかというとはい
- どちらかというといいえ
- いいえ
- わからない

③ 研究実践

5年生での授業実践

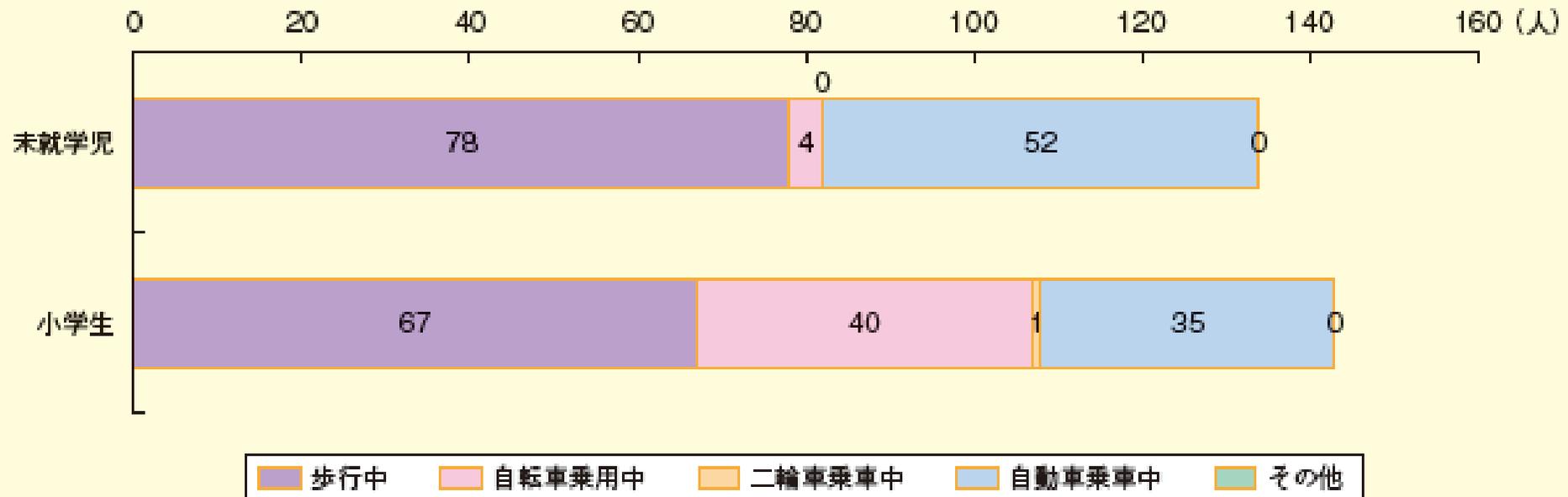


目線①歩行者の場合

<第1時>

【ねらい】登下校の歩行時に気を付けることや危険を回避するための行動について考える

▶特集-第10図 学齢別状態別交通事故死者数（平成27年～令和元年合計）



注 警察庁資料による。

内閣府HPより

③ 研究実践

5年生での授業実践



目線①歩行者の場合

<第1時>

【ねらい】 登下校の歩行時に気を付けることや危険を回避するための行動について考える



動画による危険予測

③ 研究実践

5年生での授業実践



目線①歩行者の場合

<第1時>

【ねらい】登下校の歩行時に気を付けることや危険を回避するための行動について考える

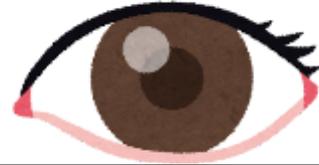
【大切にしたい合い言葉】

『止まる・見る・確かめる』

第1時から第2時までの間
毎朝登校後に「できた？」と確認

③ 研究実践

5年生での授業実践



目線①歩行者の場合

<第1時>

【ねらい】登下校の歩行時に気を付けることや危険を回避するための行動について考える

【第2時の授業前のアンケート】

「第1時の授業の後、横断歩道を歩行するとき
合言葉とした行動をできましたか？」

100%の児童が

『止まる・見る・確かめる』

を意識できたと回答

③ 研究実践

5年生での授業実践

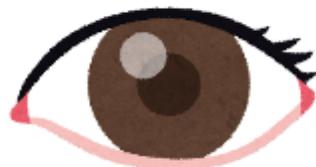
<第2時>

【ねらい】

危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える



③ 研究実践 5年生での授業実践



目線②自転車の運転手の場合
目線③加害者になりうる

<第2時>

【ねらい】危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える

【ワークシートより（自転車安全利用五則クイズ）】

〈〇×クイズで考えてみよう！～自転車に乗るときのルール編～〉※____の部分は右側のイラストがヒントです。

番号	問題文	〇×欄
1	自転車は、原則として車道を通らなければならない。 ※1	
2	自転車で車道を通行する場合は、右側通行をしなければならない。 ※1	
3	自転車で歩道を通るときは、歩道のどこを通ってもよい。 ※1	
4	自転車で歩道を通るときには、スピードを出して通ってもよい。 ※1	
5	自転車に乗っている場合、信号機のある交差点では信号機の色に関係なく道路を渡ってもよい。	
6	一時停止の標識がある場合は、自転車も一時停止する必要がある。 ※2	
7	夜に自転車に乗るときには、ライトはつけてもつけなくてもどちらでもよい。	

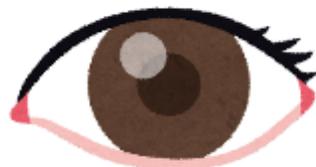


※1



※2

③ 研究実践 5年生での授業実践



目線②自転車の運転手の場合
目線③加害者になりうる

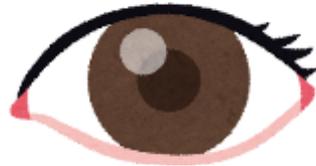
<第2時>

【ねらい】危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える



動画を使って確認

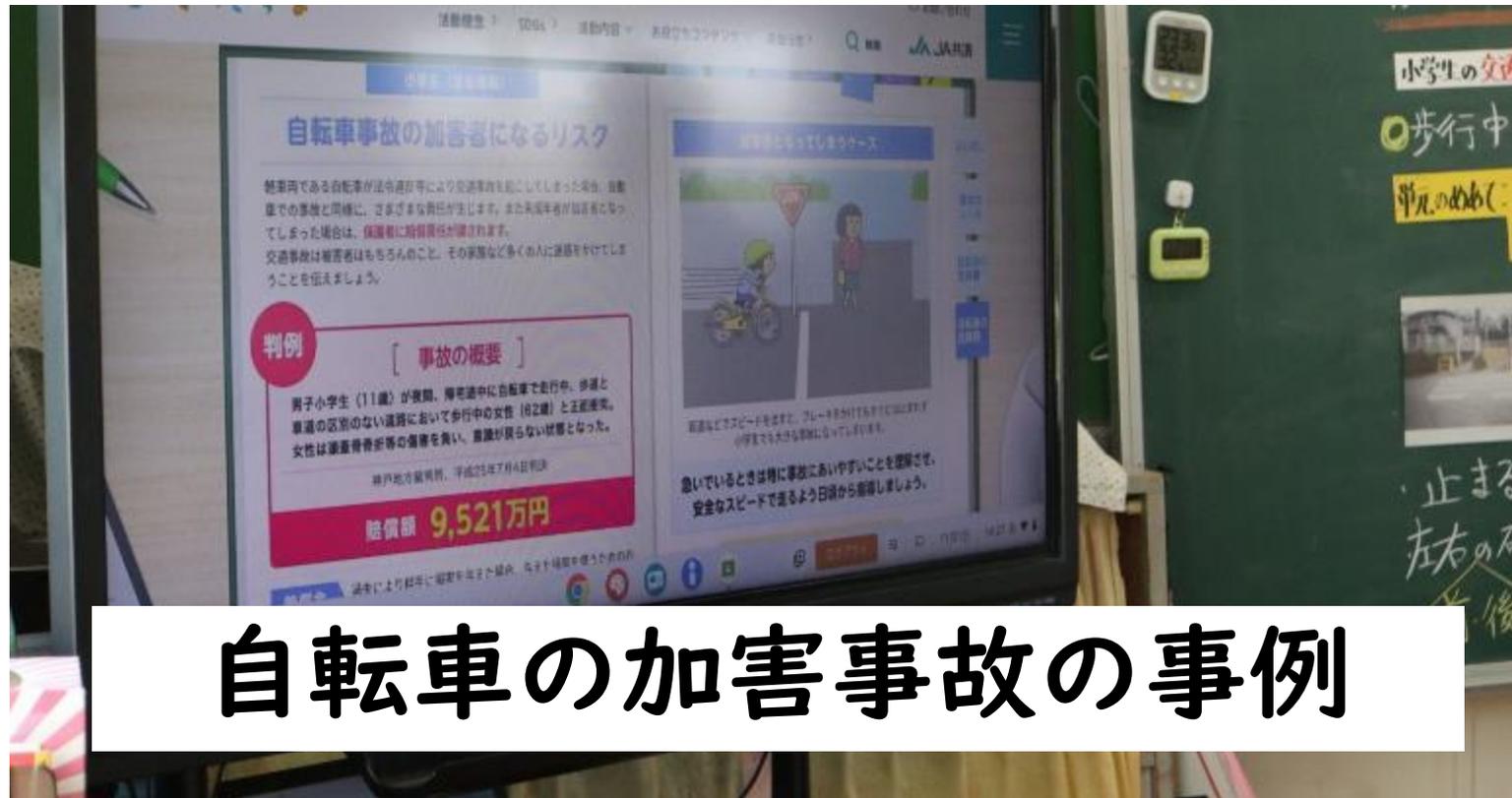
③ 研究実践 5年生での授業実践



目線②自転車の運転手の場合
目線③加害者になりうる

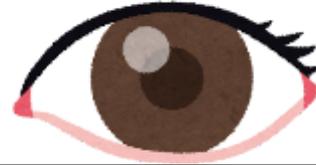
<第2時>

【ねらい】危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える



自転車の加害事故の事例

③ 研究実践 5年生での授業実践



目線②自転車の運転手の場合
目線③加害者になりうる

<第2時>

【ねらい】危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える



③ 研究実践

5年生での授業実践



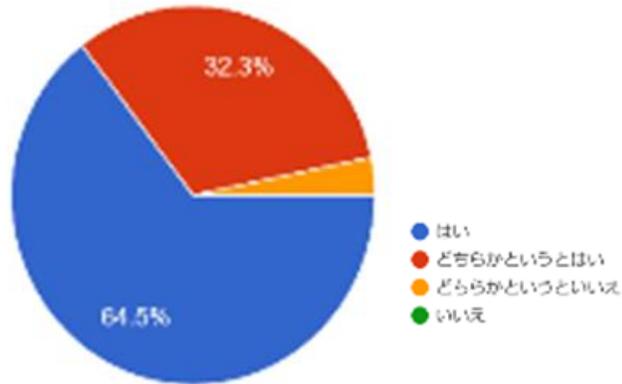
目線②自転車の運転手の場合
目線③加害者になりうる

<第2時>

【ねらい】危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える

第2時の後から第3時の前までの自身の交通状況を振り返るアンケート

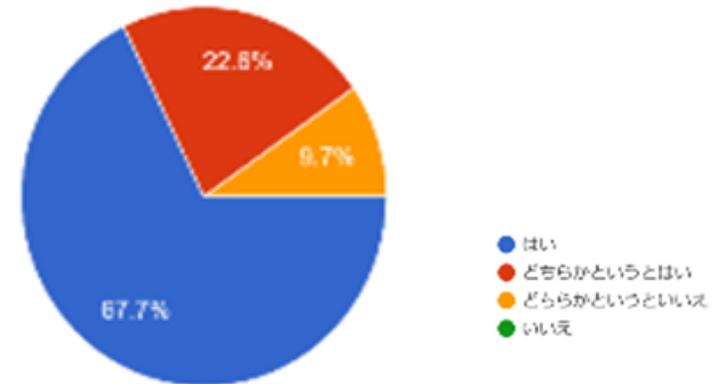
先週の授業を受けて、安全に気をつけて登下校することができましたか



「安全に登下校することができた」

→ 96.8%

先週の授業を受けて、帰宅後も安全に気をつけて通行することができましたか



「帰宅後、安全に気をつけて通行することができた」

→ 90.3%

③ 研究実践

5年生での授業実践



目線②自転車の運転手の場合
目線③加害者になりうる

<第2時>

【ねらい】危険を予測したり、危険を回避したりするための行動について考える

(自転車を利用した児童対象)

「自転車利用安全五則をきちんと守ることができましたか」

→ できたと回答 100%

③ 研究実践

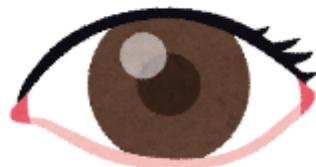
5年生での授業実践

<第3時>

【ねらい】

鬼南小安全マップを作り、通行時の安全な行動について考える

③ 研究実践 5年生での授業実践



目線④自動車の運転手の場合
目線⑤低学年児童の場合

<第3時>

【ねらい】 鬼南小安全マップを作り、通行時の安全な行動について考える



危険予測トレーニング

③ 研究実践 5年生での授業実践



目線④自動車の運転手の場合
目線⑤低学年児童の場合

<第3時>

【ねらい】 鬼南小安全マップを作り、通行時の安全な行動について考える

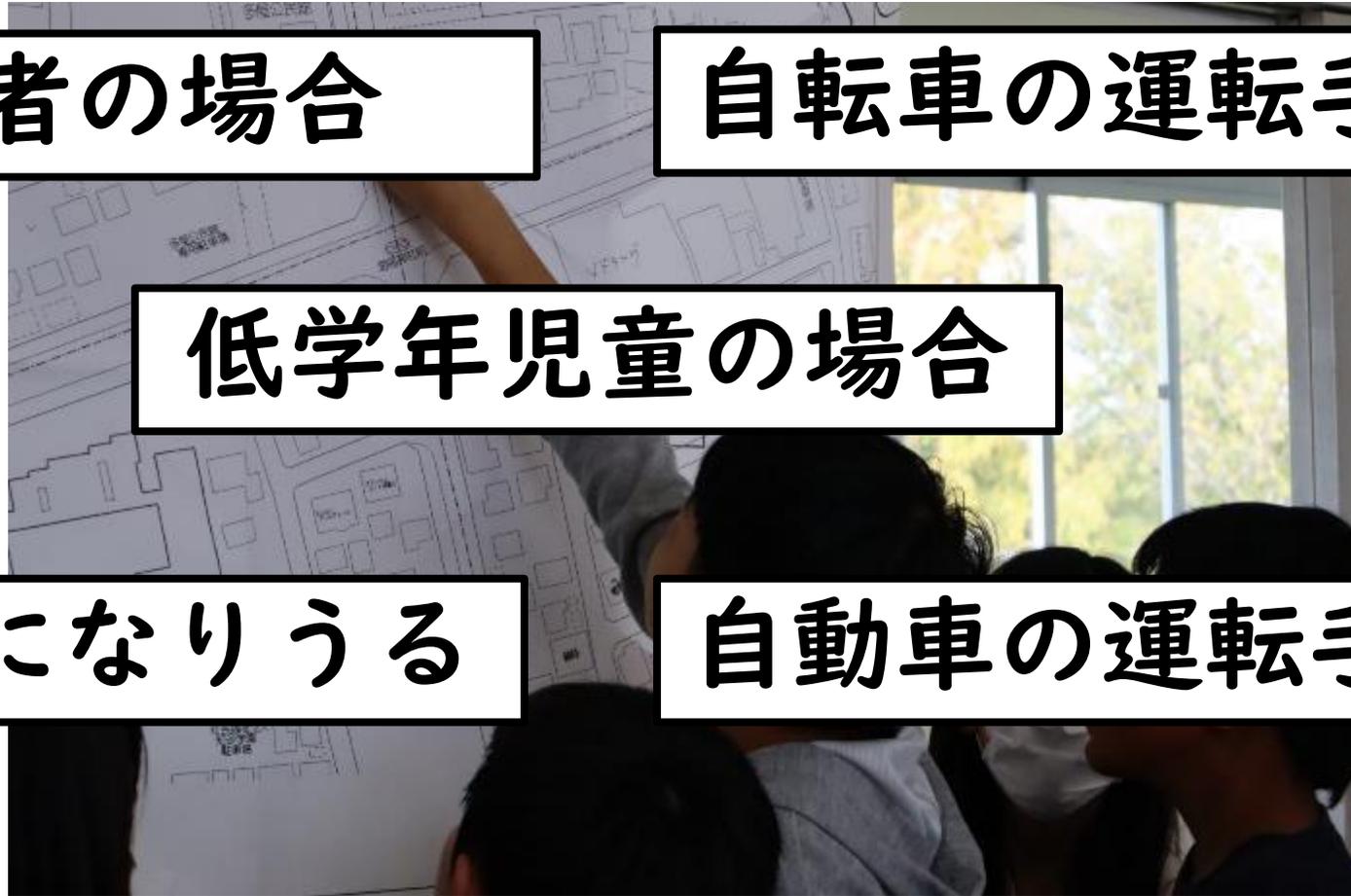
歩行者の場合

自転車の運転手の場合

低学年児童の場合

加害者になりうる

自動車の運転手の場合



③ 研究実践 5年生での授業実践



目線④自動車の運転手の場合
目線⑤低学年児童の場合

<第3時>

【ねらい】 鬼南小安全マップを作り、通行時の安全な行動について考える

低学年に紹介したい！



③ 研究実践

5年生での授業実践



目線④自動車の運転手の場合

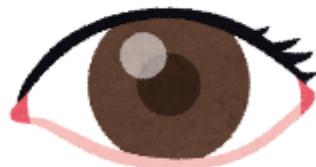
目線⑤低学年児童の場合

<第3時>

【ねらい】 鬼南小安全マップを作り、通行時の安全な行動について考える

- ・ 自転車に乗るときは、小さい子がかげに隠れて見えないかもしれないから、止まって左右を見て、確かめてから走る
- ・ 交通ルールを守ることは、自分だけでなく、他の人の命を守ることにつながる

③ 研究実践 5年生での授業実践



目線④自動車の運転手の場合
目線⑤低学年児童の場合

<第3時>

【ねらい】 鬼南小安全マップを作り、通行時の安全な行動について考える



④ 成果と今後の課題

【成果】

- 危険予測トレーニングを通して歩行者・自転車の運転者として自分の安全、周りの者の安全を高める行動を考えることができた
- 「歩行者」「自転車の運転手」「加害者になりうる」「自動車の運転手」「低学年児童」の5つの目線を与えることで、交通安全についてさまざまな角度から考えることができた
- 授業を通して危険を予測し、安全な行動をしようとする意識が高まった

④ 成果と今後の課題

【課題】

- 研究実践の取組を学校内で共有し、児童の安全意識を高めていくこと
- 時間の経過と共に、児童の交通安全意識が薄れてしまうことがないよう、児童自身が、自己を振り返り、よりよい安全行動がとれるように定期的な取組を充実させること
- 研究実践では、児童への働きかけが主なものとなっており、家庭での交通安全教育を啓発するに至っていないこと

④ 成果と今後の課題

【最後に】

- ・小学校1年生から6年生までを見通して、学級活動の時間だけでなく、高学年において、総合的な学習の時間の単元として児童が取り組み、学校、保護者、地域に広めていくことなども検討

ご清聴
ありがとうございました



常滑市



常滑市立鬼崎南小学校